

しんあい

発行：社会福祉法人 信愛会 ホームページ <http://www.sin-ai-kai.jp>

発行日：平成29年2月14日

- 特別養護老人ホーム裕生園
- 養護老人ホーム長寿園
- きんかん 小規模多機能ホーム
- グループホーム たちはな
- ケアハウス シヤトル
- みやづるデイサービスセンター
- みやづるサービス付き高齢者向け住宅

〒880-2221
宮崎県宮崎市高岡町内山 2407-3
TEL.0985-82-0196(代)
メールアドレス
sin-ai-kai@sin-ai-kai.jp

第
29号



宮崎市高岡町宮水流地区に完成した『みやづるサービス付き高齢者向け住宅』(左棟)と『みやづるデイサービスセンター』(右棟) 平成28年4月



社会福祉法人信愛会
副理事長
辰元 圭子

しんあい

社会福祉法人の制度改革が始まり、今までも増して地域に根ざした法人のあり方が求められるようになり、宮崎県も県社協を中心に「みやざき安心セーフティネット」の事業が始まりました。身近な人々の困りごとや不安等を、行政に代わって社会福祉法人が相談支援や経済的援助で支援する制度です。情報不足のため手遅れになるケースがあり、地域の身近な人の情報交換等で高齢者の介護、障がい者の支援、児童の保育、虐待を受けている人へのケアなど、様々な福祉サービスを行うことに努力します。

一方、特別養護老人ホームは、要介護度3以上の人だけが入所対象となり、重症者や入院等が多くなり、年間の入院・死亡等が多く、生活の場である施設の中は重度化し、活気がなくなっています。

また、職員は重症者のケアのため、人数も多く必要です。現状では、新しく施設を作っても、働く職員がいけないという事が、「大都会での話では？」、と思っていました。宮崎でも起こっています。若者が流出して地元に残らない問題で、Uターン、Iターンの制度を取り入れたり、行政もいろいろな制度を取り込み、これからの人手不足対策に努力しなければなりません。同時に、高齢者を七十五歳に引き上げる案もありますので、高齢者の雇用も検討し、生涯現役で高齢者の手も借りなければ、看護・介護の仕事は人の手が必要なのです。

様々な問題が山積して、見通しがなかなか効かない時代になって来ています。

『みやづる』サ高住がオープンしました



『みやづる』サ高住の外観



落ち着いた雰囲気のホール



キッチン、トイレ付きのゆつたりした居室

平成二十八年四月一日、宮崎市高岡町宮水流（みやづる）地区に『みやづるサービス付き高齢者向け住宅』がオープンしました。

サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）とは、高齢者が安心して暮らせる住まいとして政府が新たに打ち出した入居施設で、バリアフリー、トイレ付きの個室、安否確認や生活相談などのサービスがついています。

『みやづる』は、木造平屋建て、全室個室で、三十六戸から成ります。料金は家賃、共益費、基本サービス費、食費込みで一月85,400円です。これ以外に介護保険の各種サービスを利用したり、有料の介護サービス、家事サービスを受けることもできます。高齢の入居者にとって安心で、また非常に自由度の高い、使い勝手のいい住宅です。宮崎市街地への交通の利便もいいます。



みやづるデイの外観

28年度末の廃止が決まった高岡デイ。平成3年に旧高岡町が設立。一つの役目を終えました。



広々としたホール



笑いの絶えなかった高岡デイのサービスはみやづるデイに引き継がれます。

平成二十八年十一月一日、上記の『みやづるサ高住』に併設する形で、『みやづるデイサービスセンター』がオープンしました。

九月の宮崎市議会で、信愛会が指定管理を受託していた『高岡デイサービスセンター』の二十八年度末での廃止が決定しました。一方、信愛会では、みやづるデイを十一月にオープンしました。そして、十二月には全てのご利用者が高岡デイからみやづるデイに移ることを同意され、旧高岡町が平成3年に設立した高岡デイはその長い歴史に終止符を打ち、役目を終えました。田んぼに囲まれたのどかな環境の中、季節折々の行事をみんなで楽しみ、いつも笑いの絶えないうデイサービスセンターでした。

高岡デイの職員がほとんどそのままみやづるデイに移りましたので、ご利用者にとってはなじみの職員です。職員一同、なお一層のサービス提供をと意気込んでいますので、今後は『みやづるデイサービスセンター』をよろしくお願い致します。

『みやづるデイサービスセンター』がオープン

特別養護老人ホーム 裕生園

裕生園は平成 29 年 4 月に創立 40 周年を迎えます。社会福祉法人信愛会が設立した中で最も歴史のある施設です。40 年の間には、介護保険制度の導入や社会福祉法人制度改革など様々な制度改革が行われ、現在、要介護度 3 以上の重度の要介護の方々が対象の施設となっています。

これまで培ってきた知識・技術・経験を生かして、これからも信愛会の中核施設として、利用者サービスや地域貢献に努めて参ります。

運動会

音楽が鳴り、ハチマキを締めると自然と元気が出て来ます。



花祭り

小さなお釈迦様の像にお祈りします。こころが落ち着きます



明るく楽しい 園生活

特養裕生園のスナップ写真より



夏祭り

地域の一大イベントとなった夏祭り。天気に恵まれました。



たこ焼き づくり

今日は目の前でたこ焼き作り。あつあつでとってもおいしい～！



クリスマス会

今年も裕生園にサンタクロースがやって来ました！



もちつき大会

威勢よくもちをついて素晴らしい一年を迎えましょう



養護老人ホーム 長寿園

ご挨拶



養護老人ホーム 長寿園

主任生活相談員 榎田 瞬

平成二十八年九月一日付けで養護老人ホーム長寿園の主任生活相談員を拝命いたしました。社会福祉法人信愛会に入職して十二年が経ち、その間たくさんの方々に支えられて、仕事を続ける事が出来ました。心から感謝申し上げます。

私は、平成十六年四月から裕生園で、平成二十二年四月から長寿園で直接的な介護や支援を行ってきました。今回のお話をいただいた時は、多大な不安と責任を感じましたが、今までと違う分野でも利用者さんの為に自分に出来る事をしたいと考えて、主任生活相談員の仕事に挑戦しようと決意しました。

今までに相談業務の経験もなく、長寿園の職員や利用者さん、さらには利用者さんの家族の方からも助けて貰いながら、日々利用者さんのより良い生活の為に精進してまいりたいと思います。これからも宜しくお願い致します。

運動会（風船割り）



運動会（パン食い競争）



生け花クラブ



料理クラブ



長寿園ニュース

「九社連より永年勤続表彰を

受賞しました」

九州社会福祉協議会連合会より、会員として二十年以上の永年勤続者に対して、表彰が行われました。今回は、支援員の日高シズ子さん（写真右）と調理員の樋口悦子さん（写真左）が表彰されました。

『受賞者から一言』

（日高シズ子さん）「あつと言う間に二十年。親の介護の勉強の為になると思いい、右も左も分からない事だらけでしたが、なんとか続けてこれました。」

（樋口悦子さん）「周りの方達のおかげでここまで続ける事が出来ました。」

養護老人ホームは、六十歳代後半から一〇〇歳近くまで、健康な方から障害を併せ持つ方まで、と利用者さんの環境や状態が多様化しています。その様な難しい状況であっても、利用者さん一人ひとりに合ったケアを心掛けていき、さらに長寿園から表彰者が出る事を期待したいと思います。

きんかん小規模多機能ホーム



敬老会

敬老会では、利用者の皆さんでいなり寿司と赤飯を作ってもらいました。余興は隣接の老健「このはな」のホールをお借りして、「みやざき犬」と瓜倉エイサー団の皆さんに来ていただきました。

きんかん畑



利用者の畑をお借りして、さつまいもや紫蘇、ナスなどを作りました。ご家族が看板立てなどもして下さり、「畑計画」を作ってみなで草抜きや作物の栽培、収穫、そして採れたてのものを食しています。



「きんかん」では通いを中心として、ご利用者の状態や希望に応じて、随時訪問や宿泊を組み合わせてサービスを ご提供しております。それによって、ご利用者が在宅での生活をできるだけ長く継続できるようにご支援いたします。住み慣れた地域で、なじみの職員から三六五日、二十四時間サービスを受けることができます。



季節感あふれる日常生活

ゴーヤの栽培、梅干し作り、らっきょう漬け、など季節感のある日常生活を送っています。十五夜の日には地域の子供たちが回ってくるのでお菓子を準備して待ちました。



外出

市民の森に花菖蒲を見に行ったり、隣り町のあじさいがきれいだと聞いて、急きょ昼食を持ってピクニックに行ったり、小林市まで梨狩りに遠出したりしました。

グループホーム たちばな

ご挨拶



グループホームたちばな
ケアマネジャー 瀨砂 洋子

平成二十八年四月一日付けでグループホームたちばなのケアマネジャーに就任いたしました。以前はケアハウスシャトルに九年四ヶ月在籍しておりましたが、今まで勤務し続けられたのも、多くの方々のおかげでしたが、今まで勤務し続けられたのも、多くの方々のおかげでしたが、今まで勤務し続けられたのも、多くの方々のおかげでしたが、今まで勤務し続けられたのも、多くの方々のおかげですが、心より感謝しております。

グループホームとは、認知症高齢者に対し家庭に近い環境で共同生活を送ることを可能にするユニット最大で9人の少人数制の共同生活住居です。個室が用意されている為、馴染みの家具や生活用品を持ち込むことも出来、家庭にいた時の雰囲気のまま過ごすことができます。またグループホームでは、利用者様自身が出来る限り食事、掃除、入浴等の身の回りのことを行い、認知症の症状改善や能力維持を図ります。

利用者様が「自分らしい生活」を送る為には、個々の生活を重視し残された機能を最大限に発揮できるような環境作りや支援方法が必要です。その為には、利用者様の生き方、生活全体のニーズ、利用者様の主体的な生活の様子、生活習慣、職員の関わり方や家族などの意向や協力体制などといった事項をアセスメント上に出し、プランに反映させることが大切だと思えます。そしてプランが、ご家族や職員、地域の方々等のご協力を得て、利用者様の「自分らしい生活」に近づけていくことが出来たら嬉しく思います。

これからも、利用者様主体のサービスが提供できるよう心がけます。

季節の作物づくり



外出・外食



子供たちの訪問



夏祭り、花火大会



食の楽しみ



アニマルセラピー



ケアハウスシャトル

外食



時々、外食にもでかけます。今日は宮崎市内の魚料理の美味しいお店です。



ケアハウスシャトルは比較的自立した方が対象の施設です。全室個室で、夫婦部屋もあります。一般型と特定型の二種類があり、一般型は自立の方から要支援・要介護の方まで入居できます。ご自分の介護保険を使って、デイサービスや通所リハビリに通ったり、訪問ヘルパーさんに来てもらったりもできます。特定型は要支援・要介護の方が対象で、シャトルの職員があらゆるサービスをご提供する部門です。

看護職員や栄養士、ケアマネジャーも配置され、同一敷地内に辰元病院もあって安心して生活を送ることができます。月一回、市の移動図書館もやって来ます。外出、外泊も可能です。

外出



市民の森の花菖蒲見学に来ました。天気も良く、花もとてもきれいでした。



おやつ作り



綿あめ、クレープ、たこ焼、どら焼きなどなど、おやつ作りは楽しいですね。



園内活動



ボーリングゲームや輪投げ、すいか割りなど、大変盛り上がります。

保育園児来訪



年に数回、近くの保育園児たちが来訪して、太鼓の演奏や利用者との指遊びなどをして楽しい時間を過ごします。

遠足



毎年、地元の老人クラブの皆さんと合同の遠足をします。今回は青島、こどものくに行きました。



初詣で



餅つき



クリスマス会



年末年始も行事がいっぱい。いろいろあった一年を送り、また新しい一年を新鮮な気持ちでお迎えます。

しんあい歌壇

毎月一回、ケアハウスシャトルで行われている短歌会で発表された短歌の中から、いくつかをご紹介します。作者は、シャトル、裕生園及び宮崎しんあいの入居者の方々です。
(氏名五十音順)



杖忘れ傘を頼りに歩く路地

みぎにひだりにあじさいの花

安藤 武

昔より咲きつづけたるあじさいの

この藍色をポロシャツに欲し

安藤 武

朝早くケイタイのベル鳴りやまぬ

やさしい声で誕生の祝い

田口 利昭

春霞^{はるがすみ}あたり一面たなびきて

桜花をば大きく包む

田口 利昭

さんさんと夏の太陽あびながら

とてもにぎやか蝉の合唱

二宮 裕子

節分に皆んなそろって豆まきを

年の数だけ食べるの大変

二宮 裕子

水仙の立ちあるも良し^{おも}面ふせて

咲くも又良し春の日陰に

花田 暢子

一つ一つ音を鳴らしてメールする

明日は月一子供の来る日

花田 暢子

九十の坂^{いか}如何に登らんこの私

ポツポツ一步転ばず前進

松浦 エイ

今朝も又迎えのバスにありがとう

日増しに育つ青田の波よ

松浦 エイ

山桜人に見られず今日も暮れ

明日は散り行く定めなりけり

松本 マサ

窓の下の名前も知らぬ白い花

今年も咲いて我を慰む

松本 マサ

好きですする畑の手入れ^{すいか}西瓜植え

今日も出てゆく君のほほえみ

森田 琢恵

八年後舞いて祝おうそのときに

貴方は白寿私は米寿

森田 琢恵

おとずれし友は手に杖言葉出ず

なみだのみ込み二人抱き合う

矢野 いさ子

熊本の地震いつやむ今日も又

お願いだからもうしずまりて

矢野 いさ子

『ひこばえ』第一二九号〜第一四〇号のなかから『しんあい』編集部が選びました。



編集後記

特養の裕生園が昭和五十二年四月に開設して今年で四十周年を迎えます。四十年の間には本当にいろいろなことがありました。超高齢社会の進展に伴って、措置制度から介護保険制度への転換、社会福祉法人制度改革など。四十年の前半と後半では、時間の進み方のスピードが全く違つたと実感しています。福祉サービスと市場経済の両者を今後どう組み合わせていけば需給バランス等の地域格差がなくなっていくか。裕生園四十周年を迎えて、過去を振り返り未来を展望するよい機会にしたいと思います。

『しんあい』のバックナンバーは信愛会のホームページで見ることができます。 <http://www.sin-ai-kai.jp>